

〔曲名〕 Splende una Stella in Cielo

星一つ空に瞬く！

〔曲種〕 Serenata Romantica

〔作曲者〕 Domenico De Giovanni

ドメニコ デ ジョヴァンニ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

これも出版はボローニヤであるが、1898年から月2回の割合で L'Armonia と称するマンドリンとピアノの為の音楽誌が刊行されたが、

その第2巻11号（1899年6月）に掲載されたもの。

やはり此処主催の作曲コンクールに金牌受賞したセレナータ・ロマンティカ。

作者については余り知られていないが、多くの作品を発表したイル・コンチェルト誌の紹介によればボローニヤの人。

1879年頃よりその才能を認められ、

83年には同市の Reale Accademia Filarmonica 付属吹奏楽団の教授達より作曲家・指揮者として十二分の技倆があることを證せられるに及んで、

85年には Fontana Elice に赴いて、同地の新吹奏楽団設立に尽くして97年まで滞在、

それよりボローニヤに帰って Catel Bolognese 付の音楽団に指揮者及び教授として働き、傍（かたわ）ら多くの作品を書いて各地の作曲コンクールに提出、

パレルモ、ローマ、トリノ、フィレンツェ、ボローニヤ等で受賞した。

作品には管弦楽用ミサ曲、六声音部独唱曲、オペレッタ、声楽曲、弦楽四部曲、吹奏楽曲があり、

一方フレット系楽器用の曲には" ローマ・トリノ博覧会への序曲" " シンプロン・トンネル開通祝賀の序曲"

" アンデスの花 序曲" " 抒情的セレナータ" " 詩的セレナータ" などがある。

合奏曲における特徴は、楽器の個性を尊重した取扱い方に学ぶところが多い。

唯一残っているこの作者の肖像写真は如何にも本曲の作者らしい抒情溢れるロマンティストの顔である。

全く同姓同名の音楽一家があるが異なっていた。

”空にきらめく星” その他色々考えたが、”瞬く”が一番相応（ふさわ）しいように思う。

1993年 2月 発行

マンドリン合奏曲集2集（JMU版 パート譜付）より